

横須賀乳幼児保護会 平成28年度事業報告

法人は新しい組織になってほぼ3年経過し、各園も落ち着いて運営が行われている。平成28年度の活動では、理事会・サポート委員会を数多く開催し、活発な議論がなされ、今後の発展のための足掛かりになった。

① 理念

	内 容	平成28年度
利益性	保育の充実 利用者と職員の関係強化 人気のある園に 仕事に生きがいを持ち、社会に貢献している意識を持つ	各園では日ごとに安定し目標を目指して頑張っている。
生産性	仕事の質の向上 職員の教育	園長を中心として質の向上を目指して活動している。
社会性	社会との連携	近隣地域との一体を目指して。

② サービス理念

	内 容	平成28年度
サービス理念	基本的マニュアル作り チェックリスト	現在あるマニュアルの整理

③ 外部環境

	内 容	平成28年度
外部環境	社会からの高い評価 日々の保育を大切に保護者から地域へ広まっていく	実習 ボランティアの受け入れ態勢の見直し。

④ 内部環境

	内 容	平成28年度
コンプライアンス	個人情報保護	利用者の個人情報保護を職員に徹底する。
マネジメント	職員の能力 適正の把握	より良い方法を検討している。

⑤ 適正配置

	内 容	平成28年度
適正配置	職場の適正によって配置	十分な会議で決定。

⑥ 人材育成

	内 容	平成28年度
人材育成	職員の資質向上を積極的に推進し 人材育成を図る	研修への参加

⑦ 給与決定

	内 容	平成28年度
給与決定	年功序列ではない	検討中

⑧ 苦情解決

	内 容	平成28年度
苦情解決	苦情について	問題に対しては保護者 と園長を中心に十分な 話し合いを行う。 サポート委員会の活用

⑨ 利用者アンケート

	内 容	平成28年度
アンケート	県社協のアンケート	検討中

平成 28 年度 小光子愛育園 事業報告書

1. 名称 社会福祉法人横須賀乳幼児保護会 小光子愛育園
 2. 所在地 横須賀市佐野町3-15 046-853-1760
 3. 定員 99名

4. 入園状況

	0 歳児	1 歳児	2 歳児	3 歳児	4 歳児	5 歳児	合計
4 月	4	9	11	19	23	20	86
5 月	5	10	11	19	23	20	88
6 月	5	11	12	19	23	20	90
7 月	5	11	12	19	23	20	90
8 月	5	11	11	18	23	20	88
9 月	6	12	11	19	22	20	90
10 月	6	12	11	19	22	20	90
11 月	6	12	11	19	22	20	90
12 月	6	12	11	19	22	20	90
1 月	7	12	11	19	22	20	91
2 月	7	12	11	19	22	20	91
3 月	7	12	11	19	22	18	89
合計	69	136	134	227	269	238	1073

※保育士配置、最低基準

- 〈乳児〉 概ね 3 人に 1 人以上
 〈満1歳以上満3歳未満〉 概ね 6 人に 1 人以上
 〈満3歳以上満4歳未満〉 概ね 20 人に 1 人以上
 〈満4歳以上〉 概ね 30 人に 1 人以上

【就学先】

- | | | | |
|--------|-----|-------|-----|
| 鶴久保小学校 | 8 名 | 市外 | 1 名 |
| 豊島小学校 | 1 名 | 県外 | 1 名 |
| 衣笠小学校 | 3 名 | 横須賀学院 | 1 名 |
| 公郷小学校 | 2 名 | | |
| 諏訪小学校 | 2 名 | | |
| 荻野小学校 | 1 名 | | |

5. 職員構成

職名	園長	副主任	保育士	調理員	非常勤職員			合計
					保育士	調理員	嘱託医	
職員数	1	1	9	2	1	1	2	17

6. 保育目標

クラス以外の友だちとの活動を経験するなかで好奇心・達成感などの気持ちも育ってゆく姿が見られた。絵本をじっくり見たり、好きな遊びに集中できる保育環境が大切であることを意識できた。

7. 行事

(1)年間

行事	日時	場所
保育参観	平成 28 年 4 月 23 日	小光子愛育園保育室
夏まつり	〃 7 月 23 日	小光子愛育園保育室
スポーツフェスティバル	〃 10 月 8 日	鶴久保小学校グラウンド
ベビーズ スポフェス	〃 10 月 25 日	諏訪小学校
お泊り保育(年長児)	〃 11 月 11 日～12 日	三浦ふれあいの村
防災教室	〃 11 月 26 日	小光子愛育園保育室
保育自由参観	平成 29 年 1 月 25 日～27 日	小光子愛育園保育室
ミュージカル・フェスティバル	〃 2 月 25 日	はまゆう会館
お別れ会	〃 3 月 16 日	小光子愛育園保育室
卒園式	〃 3 月 24 日	小光子愛育園保育室

(2)月間

身体測定	毎月1回
避難訓練	毎月1回
お誕生日会	毎月1回
お話し会	年4回
内科検診	年2回(5月・11月)
ぎょう虫検査	年1回(5月)
歯科検診	年1回(6月)
嗜好調査	毎月1回
職員会議	毎月1回

8. 研修参加一覧表(平成 28 年度)

園長	山本朝子	発達障害の理解と対応のコツ6/9 幼保小教育懇談会 7/6・11/9 関東ブロック保育研究会7/7～8 事故予防セミナー12/14～16 横須賀市保育会研修 2/22	市立総合福祉会館 横須賀学院小 箱根湯本ホテル 大崎ブライツコアホール 自民党本部
保育士	石川清恵	発達障害の理解と対応のコツ6/9	市立総合福祉会館
〃	大畑奈美子	〃	〃
〃	松山麻実	就学前教育と小学校教育の連携講座 6/24 幼保小教育懇談会 7/6・11/9	ヴェルクよこすか 横須賀学院小
〃	河野真奈美	接遇について 1/17	よこすか平安閣
〃	高尾彩乃	〃	〃
調理員	李 妙嫦	おいしく楽しく雑食して生涯現役 8/24	ウェルシティ市民プラザ
〃	モリス幸子	和のおやつに親しもう 2/22	田浦コミュニティーセンター

9. 実習生及びボランティア受け入れ状況

(1)実習生

平成 28 年 8 月 25 日～9 月 7 日 湘北短期大学 1 名
9 月 26 日～10 月 7 日 名古屋文化学園保育専門 1 名

(2)緑ヶ丘高校保育実習

平成 28 年 7 月 25 日～7 月 30 日 2 名
8 月 1 日～8 月 6 日 4 名
8 月 8 日～8 月 13 日 2 名
8 月 15 日～8 月 20 日 6 名
8 月 22 日～8 月 27 日 4 名

(3)中学生職場体験

久里浜中学校 3 名 公郷中学校 4 名 長沢中学校 3 名
衣笠中学校 6 名 不入斗中学校 4 名

10. 保育 一年を振り返って

(1)5歳児 まつ組

昨年に引き続き、折り紙を季節の製作に取り入れることにより、就学に向けても座って落ち着く時間が習慣づけられた。絵本は自分で黙読し、ゆっくりと一文字を声に出して読むなど、それぞれ楽しんでいた。行事に参加し取り組む中で、相手の立場になって考える機会が増えた。保育士の話を聞くという態度は、集中力が続かず、工夫が必要だった。

(2)4歳児 ほし組

トマトを栽培したり、ちゅうりっぷを植えたり、季節を感じながら植物を育て、成長を観察したことで、期待感と喜びが実感できた。まつぐみとのお店屋さんごっこも、計画を立て、何回かに分けて活動できたことを、

子ども達の中には良い思い出になった。まつ組に進級することの楽しみは、こうした経験の中から生まれたと思う。

(3)3歳児 ばら組

製作に折り紙を一年間取り入れた。最初はできなかった子ども達も徐々にできるようになると、表情も明るくどんどん自信をもつ様子がみられた。夏はひまわりを育て、園の周辺を散歩し、季節や自然を感じる事ができた。後半は行く回数が減ってしまったのが残念だった。

(4)2歳児 いちご組

外あそびが大好きな子ども達に、秋ごろから二人ずつ手をつないで園の周辺を歩く経験をたくさんつくった。製作は、保育士1人と園児1～2人の落ち着いた環境の中で行い、興味や関心を深められた。ミュージカルは、元気いっぱい、普段の姿が出ていて子ども達も喜んでくれた。

(5)1歳児 ちゅうりっぷ組

毎月の製作に、個々の手型を取り、それを工夫して考えた作品を壁面に飾ったりした。絵の具、のりなど手につくことが初めてだったので嫌がる子もいたりしたが、何をするのか理解できるようになった頃には保育士の準備に寄って来る子がふえた。絵本の中に出てくる、繰り返しのリズムと歌や手遊びが大好きで、つねに生活の中に登場し、楽しく過ごせたと思う。秋ごろからパンツトレーニングを希望する保護者も出てきた。子ども達もその時期に入ったことで開始すると失敗もあまりなく日中を過ごせた。

(6)0歳児 ひよこ組

スタートはのんびりした時間が流れ、保育も楽しめたように思う。外遊びもベランダから徐々に園庭に、そしてお散歩にもたくさん行くことができた。夏の水遊びは、事故や怪我につながらないように注意し、少人数の軽い水遊びを行った。手作りのおもちゃを担当が作り、プレゼントした。家庭に持ち帰り親子で喜んでもらえた。

11. 食育

ミニトマト・きゅうり・なすの夏野菜を植えて成長を観察し、実がなると中の種をみたり、皮をむいたり、野菜の栽培で食に対する興味・関心を高めた。

5歳児クラスは、給食で使う野菜の皮むきを手伝ったり、野菜の型抜きをしてカレーの具として使ってもらうなど楽しむことができた。就学を前に、模擬給食当番も経験し、配ぜんも行った。

28年度 小光子愛育園分園きらきら星 事業報告書

1. 名 称 小光子愛育園分園 きらきら星
2. 所在地 横須賀市日の出町1 - 6 フォレースよこすか3F・2F
3. 定 員 0歳児 9名 1歳児 12名

4. 入園状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
0歳児	4	4	5	5	5	7	7	7	7
1歳児	9	11	11	12	12	12	11	11	12
合計	13	15	16	17	17	19	18	18	19

1月	2月	3月	合計
6	6	6	69
12	12	12	137
18	18	18	206

5. 職員構成

職員	園長 (※)	主任	保育士	調理員	非常勤職員			合計
					保育士	調理員	嘱託医	
職員数	1	1	8	1	1	2	2	16

(※) 本園と分園を兼任

6. 保育目標

- (1) 個々の生命の維持と情緒の安定を図る
- (2) 基本的な生活習慣を身に付けられるようにする
- (3) 生活や遊びの中で物事をよく見つけ、考え、探究する心を育てる
- (4) 心身ともに健康で思いやりのある子を育てる

以上のことを基本方針として28年度を行っていった。

子どもも、保護者も保育園という初めての環境で、出来るだけ安心して通ってもらえるよう保護者、職員間で連絡を密に取り合いながら日々保育を行っていった。

子どもたちの素直な、ありのままの姿を受け止め成長を見守っていく中で、自分の気持ちを発することや、友達や保育士とのかかわりを楽しみ、そこから人とかかわりを学んでいたり、身の回りの事に興味を持ち自分でやってみようという気持ちが芽生えていった。

また、異年齢とのかかわりの中で自然と年下の子の面倒を見てあげたい、という気持ちも育っていった。

7. 保育 ～1年を振り返って～

<0歳児 ひよこ組>

高月齢3名、低月齢3名の計6名のひよこ組。月齢差があり、初めは製作や遊びの時間は分かれて行うことが多かったが、子どもの様子を見ながら少しずつ一緒に過ごすようになっていった。また、互いに興味が増し友達同士の関わりが多くなり、その分トラブルが起きるものの、保育士の声掛けや仲立ちによって対応し、担任同士で話し合う機会を設け、個々への配慮を考えた。食事に関して好き嫌いがはっきりしていたが、友達が食べている姿を見て自分もと挑戦したり、食材を食べる順番を工夫して食べられるものが増え、完食するようになっていった。よく食べ、よく遊び、子ども同士の仲が深まり、日々成長していく中での発見があり、子ども達と過ごす1年間があつという間だった。

<1歳児 ちゅうりっぷ組>

男児5名、女児7名の計12名で過ごす。初めは月齢の差があり、低月齢児は午前寝を取り、製作なども個別で行い、保育士と遊ぶことが多かった。高月齢児はまだ一人遊びも多かったが、他児の様子が気になり、玩具の取り合いなどのトラブルになりながらも一緒に遊ぶ姿が見られた。夏が過ぎ、自己表現が出来るようになり、手先が器用になって製作を喜んだり、歌や体操を覚え歌ったり踊ったり、絵本のフレーズを覚えて読み楽しめるようになった。低月齢児も自分から輪の中に入り、同じ遊びを行って過ごし、日に日に仲間意識が増し保育士が仲立ちしなくても子ども同士で仲よく遊べるようになった。

<ワンデーナーサリー>

集団生活に慣らしたいとの理由での利用が多かった。初めの頃は涙ばかりだった子も利用回数を重ねるごとに担当保育士の事を覚えてくれ、すぐに落ち着けるようになっていたり、前年度から利用している常連の子たちの姿に連れられ遊びに入っていけるようになっていった。

どんどん常連になる子が増えた事で子ども同士も〇〇君(ちゃん)と名前を覚え仲を深めていき、まとまって遊ぶ姿もよく見られた。自宅では食が細かったり、好き嫌が多い子も園だと他児もいる為、気持ちも高まり保護者の方が驚く程よく食べていて、給食場をお願いをして大盛りにしてもらう子も多くいた。また、体を動かしたり製作をすることが好きで積極的に戸外に出たり、持ち帰りの出来る季節の製作を多くし園生活を楽しめるようにしていった。

8. 給食

園児に1名、数種類の食物アレルギーを持つ子がいた為、調理員だけでなく保育士とも連携を取りながら、調理から提供までの間で何重にも確認していくことで、間違いが起こらないようにしていった。また一時保育で来る子どもたちについても、担当の保育士と連絡を取り合い、食事を提供するようにしていった。

初めての試みで、食育として子どもたちが育てたきゅうりを給食で使用して、みんなで食べていった。普段は野菜が苦手な残す子も、自分たちで育てたきゅうりだとわかると「おいしい」「もっと」といつもとは違った反応を見せてくれたり、その後も野菜の名前を聞いたり野菜への興味が育っていった。

9. 特別事業

(1) 一時保育

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
130	111	140	152	112	126	151	139	160	164	157	156

(2) 休日保育

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
9	15	8	16	6	14	9	18	11	14	14	14

※28年度は仕事での利用の家庭が減り、幼稚園や保育園への入園に備えて慣らし保育としての利用が多かった。前年度に引き続き利用希望者が多く、毎月予約開始日には電話が殺到し、その日のうちにほとんどの日が予約で埋まってしまうという事も多く、「なかなか予約を取ることが出来ない」との声を聞くことが何度かあった。家族の入院などでの緊急時の利

用には臨機応変に対応していくようにした。また、近くにベースがあるという事もあり外国籍の子どもの利用も年々増え、国際色豊かになってきている。一時保育利用のほとんどが外国籍の子ども、と言う日も多く見られた。

10. 行事

(1) 年間

行事	日時	場所
入園・進級	28年4月1日(金)	きらきら星
バースデーパーティー	① 28年5月28日(土)	きらきら星
	② 7月23日(土)	〃
	③ 12月10日(土)	〃
	④ 29年3月28日(火)	〃
お話し会	① 28年6月20日(月)	きらきら星
	② 9月15日(木)	〃
	③ 12月8日(木)	〃
	④ 29年3月6日(月)	〃
スポーツ フェスティバル	28年10月22日(土)	諏訪小学校 体育館
ミュージカル フェスティバル	29年2月25日(土)	はまゆう会館
卒園式	29年3月28日(火)	きらきら星

<バースデーパーティー>

年4回に分けて季節に合った内容の保育参観と合わせて誕生会を行っていった。保護者の方には園で日々行っている製作風景や、子どもたちの好きな手遊びや歌、絵本などを見てもらい、家庭ではなかなか見ることの出来ない子どもたちの姿に驚いたとの声を頂いた。子どもたちの家族とのやり取りから家庭での一コマを垣間見ることが出来た。

<スポーツフェスティバル>

今年度は本園の0, 1歳児と合同での運動会となった。オリンピックをテーマに広い体育館で、子どもたちの成長に合わせた競技内容を用意していった。個人競技では子どもたちの成長を見てもらい、親子競技では親子で協力し合い一緒に楽しんでいる姿を見ることが出来た。約2時間弱と言う短い時間ではあるが、年齢的にもちょうど良く、楽しんで行える内容の運動会になっていたと思う。

<ミュージカルフェスティバル>

本園の小光子と合同ではまゆう会館で行った。歌やダンスが大好きな子ども達だったので日々の保育の中で楽しんで踊り、ロずさんで練習を楽しんでいたのが印象的だった。また、衣装を着ることを喜び、いつもとは違う自分の姿にうっとり眺めている様子も可愛かった。本番では大きな舞台に緊張しながらも立ち、一年で大きく成長した姿を見せてくれた。

<その他>

季節に合わせた行事（お月見、クリスマス、節分、ひなまつり etc）をその季節ごとに行っていた。園児だけでなく一時保育を利用している子どもと一緒に合同で行い、賑やかな雰囲気の中、楽しんで参加していた。保護者からも家ではなかなかできない行事もあるため経験させることが出来、良かったとの声を頂いた。

(2) 月間

発育測定	毎月 1回 15日（土日にあたる日は後日）
避難訓練	毎月 1回 20日（土日にあたる日は後日）
内科検診	年 2回（5月・11月）
歯科検診	年 1回（6月）
ぎょう虫検査	年 1回（5月）
職員会議	毎月 1回 他に昼・夕方会議

※年間・月間共に計画通り実施できた。

11. 園外保育

児童図書館でのお話し会に参加（ちゅうりっぷ組）

29年1月18日（水）

2月22日（水）

※今年度は児童図書館が開催するお話し会に2回参加した。沢山の子どもやお母さん方に混ざり、絵本や紙芝居だけでなく歌や手遊びなどを行い、覚えて帰ってきては楽しそうに園やお家でロずさんでいた。

お話し会だけでなく、日々の散歩の中で中央消防署へ行き消防車の見学をしたり、諏訪神社へ初詣に行ったり、あんしん館で地震体験を経験するなど様々な形でお散歩（園外保育）を行っていた。

12. 職員研修

日付	研修内容	場所	職員名
6月23日	子どもの健康を守るための講演会	はぐくみ館	中庭
6月30日	保育者としての人材育成	藤沢商工会館	臼井
7月8日	関東ブロック保育研究大会	箱根湯本富士屋ホテル	松永
9月28日 ～30日	主任保育士研修	大崎ブライトコアホール	臼井
10月20日	アレルギー児童緊急時対応研修	神奈川県立国際言語 文化アカデミア	日下部
11月8日	集団生活での乳幼児アレルギー対応	横須賀市役所本庁舎	大原 平松

※研修に参加した職員が研修で学んだものを園に持ち帰り、ほかの職員へ伝え共有していき保育の向上に努めていった。

13. 実習及びボランティアの受け入れ状況

<看護実習>

神奈川県衛生学園専門学校 看護学科 2年生

29年1月23日～27日 6名

2月13日～17日 6名

3月 6日～10日 6名

<夏季保育実習>

緑ヶ丘女子高等学校 保育科

28年8月1日～6日 3名

8月8日～13日 4名

8月15日～20日 4名

<体験学習>

28年5月25日～26日 神明中学校 3名

11月8日～10日 大津中学校 2名

11月8日～10日 常葉中学校 2名

11月14日～17日 馬堀中学校 1名

11月16日～17日 久里浜中学校 2名

※今年度も沢山の学生に実習や体験学習で来てもらうことが出来た。子ども達もお姉さんやお兄さんたちとの交流を喜び、楽しんでいた。しかし、いつもと違う環境に興奮気味になってしまうことが多かったため、怪我などが起こらないよう職員間で十分に気を付けて保育を行っていくようにした。

平成28年度 玉成保育園職員・園児の概況

1. 名称 社会福祉法人横須賀乳幼児保護会 玉成保育園
2. 現住所 横須賀市三春町5-32
3. 定員 60名
4. 入園状況

0歳児	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児	計
60	72	156	144	144	180	756

(1年間総在籍数)

園長 廣田有希
副園長 渡辺昌代
副主任 長谷川由希 後藤亜美
保育士 大津清香 青木友里 伊藤歩 竹内望 平賀朱理
藤ヶ森美沙 草間朱莉 實吉理絵 鈴木幸子
調理員 松島裕子 小川多美子 大貫翼
看護師 田畑思真
音楽 栗原裕子
語学 ヒッポ ファミリークラブ

「そんな時もあるよね・・・」

保育園で集団生活を送る子ども達。みんなと一緒に・・・も、もちろん大切ですが日々、心も体も成長していく子ども達。小さな胸の中にも、たくさんの思いや感情葛藤があることでしょう。「そんな時もあるよね」という気持ちを持って手をさしのべてあげられる、集団でありつつも個の対応も大切にしていこうと目標にしてきました。

「話したいこと、聞きたいこと、ありますか？」

保護者の皆さまが遠慮しないで声を掛けられるような雰囲気のある園でありますか？子ども達を取り巻く様々な環境が、より良いものになっていくように努めていきたいと思っています。

延長保育

4月	5月	6月	7月	8月	9月
8名	9名	8名	8名	7名	7名
10月	11月	12月	1月	2月	3月
7名	7名	6名	7名	7名	7名

*健康診断

内科検診	5月20日	11月30日	高宮小児科
歯科検診	6月9日		谷歯科医院
ぎょう虫検査	5月		鈴木クリニック
職員健康診断	4月・5月		鈴木クリニック

*月間・年間行事

スポーツ フェスティバル	10月1日	山崎小学校
お泊り保育（年長児）	10月28日・29日	三浦ふれあいの村
音楽会	11月19日	文化会館
ミュージカルフェスティバル	1月28日	はまゆう会館
保育参観	4月 7月 12月 3月	
自由参観	毎月1～2回	
お誕生日会	毎月	
卒園式	3月23日	

*職員研修

4月28日	就学前教育と小学校の連携講座
5月11日	幼保小教育懇談会
6月6日	1歳児保育研修
6月9日	保育内容研修
6月20日	4.5歳児保育研修
6月23日	子ども達の健康を守るための講演会
6月24日	保育所における人材育成
6月24日	就学前教育と小学校の連携講座
6月28日	3歳児の発達と保育
7月6日	幼保小教育懇談会
7月12日	1歳児保育研修
7月19日	3歳児の保育の実際
9月27日	柔らかくて食べやすい料理作りの工夫
11月8日	アレルギー対応講座
11月9日	幼保小教育懇談会
11月9日	養成校懇談会（横浜こども）
11月21日	0歳児保育研修
11月29日	白峰学園研修会
12月12日	気になる子への対応（園内研修）
2月1日	幼保小教育懇談会

ひよこ組 (0歳児)

入園当初は人見知りも多く、また母乳での生活から哺乳瓶での授乳への移行に慣れず、なかなか進まない時期もあった。慣れてくると、授乳も人見知りも少しずつ解消された。離乳食の進みもよく、つかみ食べも上手で今では普通食になり食具を持って食事をしたがるようになった。歩行も入園当初に比べ一段としっかりし、外遊びやアスレチック遊びでは思い思いに身体を動かしあそぶ様子が見られた。また、子ども同士の関わり合いが多く、協調性のあるクラスで行事前の練習でも積極的に参加し行事を終えるごとに成長を感じる事が出来た。

ちゅうりっぷ組 (1歳児)

新入園児は保護者と離れる際、涙する姿が見られたが少しずつ園生活や保育士にも慣れ笑顔が増えてきた。友達の色や名前も覚え一緒に遊び楽しむ姿が見られるようになった。

行事をしていくなかで、出来なかった事が徐々に出来るようになり生活面でもいかすことが出来た。園外活動(お散歩)をとり入れたことで、季節の移り変わりを肌で感じ指をさして色々なものに共感し会話を楽しむ姿が多く見られた。戸外で体を動かし、体力もついてきた事で食欲も出てきて完食する子が増えた。また、食事中に寝てしまう子も園生活のリズムやみんなで食べる楽しさが分かるようになり、自分で食べ完食が出来てきたことでの喜びも知ることができたようだ。年度末には、言葉もはっきりし自分の思いを伝えたり、保育士の話を理解し、行動できるようになってきた。

いちご組 (2歳児)

新入園児2名もすぐに慣れ、クラス活動を4月からスムーズに行えた。

「個」での動きが多くうまく言葉で伝えられず手や口がでてしまう事も多々あったが、友達との関わりのなかで徐々に言葉でのコミュニケーションが増え次第に落ち着いて生活できるようになった。

毎日生活するなかで自分以外を意識できるようになり友達と「一緒に何かをする」姿が多く見られるようになった。楽しい事が大好きで、好奇心旺盛な子どもたちだったので製作や遊び・・・いろいろな事に積極的にチャレンジしていった。トイレトレーニングでもパンツを履いている友達に刺激を受け全員パンツで過ごせるようになった。

全ての行事などでも泣いてしまう事もなく楽しんで参加し、最後のミュージカルフェスティバルでは自信をもち1年の成長を見せることができた。

ばら組 (3歳児)

幼児クラスへ進級する事で生活の場が2階に移り当初は戸惑いもあったようだが、徐々に慣れてきた事でスムーズに生活が出来るようになった。

年中、年長組と関わる事も増えたことで、言葉のトラブルなども出始めた。保育士が仲裁に入り解決する事で少しずつ遊び方にも変化がみられ自分たちでもどうしたらいいのか…考え、解決しようとしている姿も見られるようになった。

様々な行事では、練習を楽しみながら取り組み、本番当日も緊張しながらも終わった後は達成感を感じる事ができたようだった。

食事面では今までほとんどの子が困らずにきたが、偏食がはっきりと出てきた子もいた。子どもの様子については保護者と連携をとることで共通の認識をもち対応していく事ができた。

ほし組 （4歳児）

進級した喜びはあったが、保育室が変わる程の環境変化がなかったので、比較的落ち着いた状態でスタート出来た。

食事面では時間のかかる子が多く、色んな対策を試したが、プレッシャーを感じて給食を嫌がったり泣き出してしまうなど不安定な子も出てきてしまったので、「個」を大切にしようと改善していくと、年度末には食事を楽しんで食べている姿が多く見られた。

ワークの取り組みも積極的で、特に文字に対する興味は著しく個人的に家で手紙を書いたりと言葉以外の表現をするようになった。また、おしゃべりが大好きな事から、保育士の話しがなかなか聞けず何度も繰り返す事が多かったが年長児とかかわることで、話しを聞く姿勢が身に付いてきた。

行事への意欲は強く全員が1つになって取り組むことができ、達成感を味わうことが出来た。1年間を通して新しい遊びや活動を取り組み相手の気持ちを考えられるようになったりと大きな成長を実感した。

まつ組 （5歳児）

新しい生活を喜び、期待と不安が入り交じる4月。初めて使用するよい子の学習や自分だけの絵の具セットをととても楽しく取り組んでいた。製作では、自分で出来る工程が増え完成をイメージして表現していた。

カイコやカブトムシなどに餌をあげたり、日々の観察、飼育を通して生命の大切さ、尊さを学ぶことが出来た。

公共機関のバス、電車を利用して博物館や芋ほり、みかん狩りに行った。博物館では、普段間近で見ることが出来ない展示物や生き物に触れることが出来た。芋掘りなどでは収穫することの楽しさを知り、普段の生活では経験できないとても貴重な体験となった。

食事では、三角食べを意識したり給食がどの様な食材を使って調理されているのかなど食育に対しての関心も持つことが出来た。

個々の成長に伴い友達とのトラブルもあったが、次第に互いを理解し合えるようになり協調性が深まった。

自由参観日

毎月2回、10時～14時の間、自由に子ども達の様子やクラス別保育を見て頂く事を目的としている自由参観日。

親子で参加する保育参観とは違い、普段の園生活や保育の様子を見て、家庭と園での相違点なども見る事が出来たり、成長を感じる事が出来たなどの感想も聞かせて頂いた。

乳児クラスでは、食事面を気にされている方も多く、食事の量や離乳食の進め方など、様子を見ながら保育士と園での様子を聞いたりされていた。

幼児クラスでは、集団生活においての、子ども達の様子や活動状況、また、友達同士の関わり合いなども見てもらえる場となっていた。

保育参観

28年度は年4回行われた。

1回目は、入園、進級おめでとう！これから楽しく過ごそうね。との思いを込め新しいクラスでの初めての保育参観。クラスの様子も保護者に見てもらおう。

2回目は、あいにくの雨ではあったが、保育園内でいろいろなお店を回り、遊んだり食事をしたりと楽しんだ夏祭り。先生たちがお店屋さん。みんなはチケットを持ってあっちのお店こっちのお店へと大忙し、親子で楽しいひと時を過ごした。

3回目は、クリスマスをテーマに各クラス親子製作を楽しんだ。給食も一緒に食べて微笑ましい光景がみられた。

4回目は、3月の年度末。1回目の参観から1年たった子供たちの姿から、たくさんの成長見る事が出来、保護者も保育士も「大きくなったなあ～」と実感。

クラス懇談会

今年度は、年に2回実地された。(6月・3月)
どのクラスも各ご家庭での子ども達の様子を話してもらったり
また、園での子ども達全体の様子、活動、日頃のちょっとした笑い話 e t c . . .
保育士から保護者へも伝える。
日頃会えない保護者同士も情報交換の場となり、子育ての思いを共感したり
一緒に考えたりする機会にもなっている様でもある。
毎回、出席率も良くどのクラスも、とても良い雰囲気で行われている。

個人面談

まつ組から順に個人面談の希望を随時受け付ける。
懇談会のように全体で話をするのとは別に、担任と保護者が個々の園の様子や
家庭で心配している事など、実際はどうなのか、ゆっくり話をして安心して
もらったり、何か問題があれば解決の糸口を見い出せればと園としても考えて
いる。今後も各クラス実地していきたいと思う。

給食

子ども達にとって、給食の時間が待ち遠しく、楽しい時間になってもらえる
ことを心掛けて調理を進めてきた。また、同時に衛生面やアレルギー児へ提供す
る際の対応については、特に事故の起こらない様に行った。

残食チェック、保育士、また保護者との情報の共有、子どもたちが直接教えて
くれる感想などにも耳を傾けながら、今後も努めていきたいと思う。

スポーツ フェスティバル

10月1日 山崎小学校の体育館にて開催。

朝からどんよりとした空模様、延期か決行か悩ませる時間がせまり決断は1時間遅らせて決行。準備の段階では雨は降っておらず、このままいけると始めた直後、パラパラと子ども達の体に雨粒が・・・

急遽、体育館へ移動し続行することとなった。

前日にスタッフには急な会場移動にも戸惑う事なく誘導できるよう十分に打ち合わせは重ねていたこともあり、子ども達も保護者もケガなく移動することができた。

競技は縮小されたが、体育館ならではの楽しさもあり、スムーズに行う事が出来た。午前中で競技は終了とし、持ってきたお弁当は体育館内で食べて頂いた。

幼児クラスは、近くの公園で競技の練習をし、当日までのモチベーションを高めていた状況もあってか、勝敗にもこだわり、喜んだり悔しがったり、中には涙する子ども・・・

保護者の協力もあり、体育館ではあったが、例年通り保護者競技もとても盛り上がった。

毎日の生活の中で、ひとつの目的に向かって心も体も大きく成長した子ども達。当日は、あいにくの雨だったが笑顔の絶えない素敵な1日となった。

音楽会

今年度は、秋の音楽祭をテーマに選曲した。

乳児クラスでは、毎日の練習から楽しく行うことが出来、練習以外の時でも思わず鼻歌を歌っている子ども達の姿はとても微笑ましく思えた。

幼児クラスでは、楽しい事にプラスされ、毎日練習を継続することで、少しずつ出来るようになっていく喜び。みんなで合わせるという目的を理解しクラス全体の団結と、個々の自身へと繋がっていったと思う。

当日、文化会館の中ホールは、頑張っている子ども達、ステージに上がっている我が子を身近に見て微笑んでいる保護者、保育士、みんなが心地よい気持ちになる空間となった。

ミュージカル フェスティバル

園行事の大きなイベントの最後となるミュージカルフェスティバル。
1月29日はまゆう会館で開催された。
子ども達は、毎日練習を重ね、取り組んだ成果を発揮させる大舞台。
本番では、緊張しながらもステージに立ち、一人一人がそれぞれに頑張っている姿はとても輝いていた。

園内での季節行事

5月	こいのぼり集会
7月	七夕集会
10月	ハロウィンパーティー
12月	クリスマス会
2月	豆まき集会
3月	ひな祭り会
	まつぐみお別れ会

*お誕生日会は毎月開催

どの行事も子ども達は楽しく参加していた。

保育実習・職業体験

* 職業体験 (中学生)

公郷中学校 (5名) 7/6 大津中学校 (3名) 11/8~1
馬堀中学校 (2名) 11/14~17 大矢部中学校 (2名) 11/9~11
久里浜中学校 (3名) 11/16, 17 不入斗中学校 (3名) 1/18~20

初日は緊張していたり、戸惑う様子も見られたが、日が経つにつれて子供達にも慣れ、充実した楽しい時間を過ごせていた。複数の学校が重なったの受け入れではあったが、トラブルもなく過ごせた。

* 保育実習 (緑が丘高等学校 e t c)

8/1~8/6 (1年生)・津久井浜高等学校 (2年生、1名)
8/8~8/13 (1年生)
8/15~8/20 (2年生)

緑が丘の学生は、幼児教育コースの学生ということもあり、実習にも早く慣れ子供たちとも笑顔で接している姿が見られた。また、ボランティア活動として2校の学生がお手伝いに来た。保育士を目指す学生にとっては短い時間であれ、貴重な体験が出来たと感想を述べていた。

* 保育実習 (大学・短大・専門学校)

横浜こども専門学校 5/16~27 (3名) 6/28 (2名)
7/26~8/6 (2名) 10/31~11/2 (1名) 2/20~2/24 (1名)
東京福祉大学 7/25~8/6 (1名) 2/27~3/11 (1名)
横浜短期大学 9/1~9/17 (2名)
鎌倉女子短期大学 9/5~9/16 (1名)
田園調布学園大学 2/13~2/27 (2名)
聖ヶ丘教育福祉専門学校 9/6~17 (2名) 2/13~24 (1名)
横浜創英大学 8/8~8/20 相模女子大学 8/29~9/10

学校や学年によって、実習目的や実習ノートの違いがあるため、内容を把握した上で各自に合わせて行った。意欲的に取り組む学生が多く、ピアノの引き語りにも挑戦したり、指導案を積極的に取り組むなどの姿が見られた。